※令和４年度以降入学生用

学校番号	323

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	（学）教育国語発展 （ｅコース）	単位数	１単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	大学入学共通テスト実践演習 論理文学編（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

現代のさまざまな文章（論理的・文学的・実用的）を的確に理解する能力を高める。
授業にしっかりと取り組む。
授業中の問題演習は自分の考えに基づく答えを決められた時間内に解答する。
提示されたものを機械的に書き写すのではなく理解を深めながら書く。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
読解に必要な語彙と表現が理解できている。
【思考力、判断力、表現力等】
文章を的確に理解し、登場人物の心情や筆者の主張が理解できる。
【学びに向かう力、人間性等】
さまざまな文章にふれ、それらを積極的に理解しようとしている。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、現代の言語文化に対する理解を深めている。	「書くこと」「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとし、言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	問題演習を通じて論理的・文学的・実用的文章の語彙力、読解力の基礎 ［教材］ 論理的文章第1・2・3回 文学的文章第1・2・3回 実用的文章第1・2・3回	a：文法や語彙を理解・学習したうえで、本文の内容を理解する。 b［ 読 ］：文法や語彙を理解したうえで、設問の意図と内容を理解する。 c：時代背景や文化を調べ、本文と設問を理解・考察することで、登場人物の思想や感情を考察し、自分のものの見方や文章に対する造詣を深める努力をする。	成果物の提出 定期考査	発問評価 指名音読 定期考査	授業態度 成果物の提出
二学期	問題演習を通じて論理的・文学的・実用的文章の語彙力、読解力の標準 ［教材］ 論理的文章第4・5・6回 文学的文章第4・5・6回 実用的文章第4・5・6回	a：文法や語彙を理解・学習したうえで、本文の内容を理解する。 b［ 読 ］：文法や語彙を理解したうえで、設問の意図と内容を理解する。 c：時代背景や文化を調べ、本文と設問を理解・考察することで、登場人物の思想や感情を考察し、自分のものの見方や文章に対する造詣を深める努力をする。	成果物の提出 定期考査	発問評価 指名音読 定期考査	授業態度 成果物の提出
三学期	問題演習を通じ論理的・文学的実用的文章の語彙力、読解力の発展 ［教材］ 論理的文章第7・8回 文学的文章第7・8回 実用的文章第7・8回	a：文法や語彙を理解・学習したうえで、本文の内容を理解する。 b［ 読 ］：文法や語彙を理解したうえで、設問の意図と内容を理解する。 c：時代背景や文化を調べ、本文と設問を理解・考察することで、登場人物の思想や感情を考察し、自分のものの見方や文章に対する造詣を深める努力をする。	成果物の提出	発問評価 指名音読	授業態度 成果物の提出

４　学習の活動

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　５　）時間

・書くこと　…　（　１０　）時間

・読むこと　…　（　２０　）時間